

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 11 月 16 日 (2006.11.16)

【公開番号】特開 2005-106783 (P2005-106783A)
 【公開日】平成 17 年 4 月 21 日 (2005.4.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-016
 【出願番号】特願 2003-344441 (P2003-344441)
 【国際特許分類】

G 2 1 K 4/00 (2006.01)

G 0 1 T 1/00 (2006.01)

G 0 3 B 42/02 (2006.01)

【F I】

G 2 1 K 4/00 N

G 0 1 T 1/00 B

G 0 3 B 42/02 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 9 月 29 日 (2006.9.29)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フロント部材と柔軟性を有するバック部材とから構成され、気相成長法により形成し厚さが $20\ \mu\text{m}$ 乃至 $2\ \text{mm}$ の範囲内の柱状結晶からなるシート状記録媒体を前記バック部材に接着した状態で収容し、

前記柱状結晶の成長方向と略同一方向に前記フロント部材と前記バック部材とを相対的に脱着可能に構成したことを特徴とするカセット。

【請求項 2】

前記シート状記録媒体は、矩形状のシートの片面に前記気相成長法により前記シート面と略直交する方向に結晶成長させたシート状画像記録部を有し、前記シート状画像記録部の反対面で前記バック部材側と一体化し、

前記フロント部材が前記バック部材及び前記シート状記録媒体に対し脱着可能に構成されたことを特徴とする請求項 1 に記載のカセット。

【請求項 3】

前記バック部材と前記シート状記録媒体とは相対移動可能に接合されていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のカセット。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

即ち、本発明によるカセットは、フロント部材と柔軟性を有するバック部材とから構成され、気相成長法により形成し厚さが $20\ \mu\text{m}$ 乃至 $2\ \text{mm}$ の範囲内の柱状結晶からなるシート状記録媒体を前記バック部材に接着した状態で収容し、前記柱状結晶の成長方向と略同一方向に前記フロント部材と前記バック部材とを相対的に脱着可能に構成したことを特

徴とする。